

12 スキニシー学校



住 所 | 栗東市荒張 1545-18

最 寄 り 駅 | JR草津駅から帝産バス、ダイキン工業前下車、徒歩25分

代表責任者 | 池田 勝 (いけだ まさる)

電 話 番 号 | 090-7093-9819

E - m a i l | skinicy.school@gmail.com

U R L | 準備中です

参加対象者 | 0歳~200歳まで

活 動 日 時 | おおよそ月曜日、水曜日を中心に月に10回程度 朝9時頃から夕方17時頃まで

参 加 費 | 現在無料です (どのようにしていくか検討中です)



活動内容・施設や活動の雰囲気

豊かな自然に囲まれた場所です。基本的に自然の中で遊び学びます。四季折々の自然の食をオクドサンやたき火で調理をしたり、ヤギの世話をしたり、木登りしたり、鬼ごっこをしたり、畑をしたり、虫を捕まえたりと、自分でやりたいことを自然の中で過ごします。みんなでやりたいことを相談してハイキングや、小屋建築、イベント・マルシェへの出店などもします。子どもも大人も自然から学ぶ場ですので、子どもだけ、大人だけの参加も可能です。

スタッフ紹介

池田勝(代表)：子どもから大人の自然体験や環境教育を生業にしています。フリーランスの他、小学校非常勤講師や博物館等でも勤務していました。西澤彩木(副代表)：せた♪森のようちえん(一社 びわ湖の森のようちえん)代表「子どもが自分たちで生活をつくっていけるように」自然保育を実践しています。これまでボランティアベースだったものから現在事務局を立ち上げ組織として動き始めています。

メッセージ

2019年に不登校や学校の難しさを抱えた2組の親子との活動から始まりました。「スキニシー」は「好きにしい」から名付けられました。たくさんの自然に囲まれて遊んで体験することが学びと考えています。子どもも大人も自然から多くを学べます。また、民主的に自由の相互承認をかなえる場として、みんなで話し合い決めていくことを大事にしています。不登校の人も、公立学校と両立する人も、自然が好きな人も、リラックスしたい人も、0歳から200歳までが対象です。

我が家の不登校事情

我が子の
不登校を経験した
全国の先輩
保護者がおくる

不登校と言っても、子どもひとりひとりによって状況は違います。正解が分からず、初めは保護者も子どもも否定的な考えに陥ってしまうことも多いでしょう。だからこそ、同じような経験をした人に話を聞くことはとても大切です。ここでは、我が子の不登校を経験された先を行く先輩保護者さんにお話を伺いました。



小学校低学年からの不登校

私の子どもは現在 13 歳、(中 1)。3 人兄弟の末っ子として育ちました。小学 1 年生の時から「学校は嫌だ」と思っているなど感じていました。4 年生のコロナ明けから不登校になったのですが、現在は学校との関係は非常に良好です。家での日常は全てにおいて自己決定の連続で、起床時間から就寝まで、気の向くままに決まります。ゲームや YouTube に夢中で、オンライン友達とディスコードでの交流も欠かせません。特に生き物の飼育や料理、実験に情熱を燃やしており、粘土遊びも日課です。学習に関しては不安を感じることもあるけど、日常の学びが彼を成長させています。親としての私の役目は「やりたい」を全力で応援することだと思っています。そして、彼を通して私も多くのことを学んでいます。この経験を通じ、私にとっての「信じる」「認める」「愛」「幸せ」という言葉の真意が深まりました。子どもの不登校の経験は、今では私にとってかけがえのないものとなっています。(栃木県 まいこ)

中高一貫校からの不登校

私の息子は中 1 の時、突然学校に行かなくなりました。それからの日々は一筋縄ではいかず、高校も専門学校も退学。その後はアルバイトや契約社員として働き、24 歳で自分の道を見つけ、今は一人暮らしをしています。当時の中学の先生達は彼を温かく受け入れ、常に戻る場所があると感じさせてくれ心強かったです。家では、家事を学ぶ機会とし、生きる力を身につけさせることを心がけました。昼夜逆転やゲームも増えましたが、一番心配だったのは彼の心が安らぎを見つけられないことでした。しかし成長するにつれ、彼の学校への考え方が変わり、新しい道を見つける事ができました。不登校のご家庭に伝えたいのは、焦らず、他の家庭の経験を聞くことの大切さ。そして、親同士のサポートがとても役立つことです。不登校は子どもの心の疲れの現れ。そんな子どもを温かくサポートし、共に成長する日々が私たち親にも必要だなと思います。(大阪 フラワーズさくら)

発達障害と不登校

現在 19 歳の長男は、小学校 6 年生で発達障害の診断を受けています。小 4 で行きしふりが出始め、小 6 の夏休み明け～中 3 まで不登校でした。息子は二次障害に苦しみましたが、親が関わりを変え、寮のある高校に入り、環境調整と先生方の丁寧な支援のおかげで心はだいぶ回復。今は自宅から毎日大学に通っていますが、生きづらさがなくなっているわけではありませんね。今思うのは、もっともっと早く、親の私が、素直に発達相談につながればよかったなと反省しています。発達特性がある子どもは認知も独特で、自己肯定感が下がりやすいし不登校にもなりやすいのが経験してよく分かりました。ひとりひとりの子どものケースにもよりますが、適切に発達相談や医療に繋がり、診断を受けることで子どもが笑顔を取り戻し、自立に近づく場合もあると今は心から思います。(滋賀県 いちご大好き)

きょうだいの不登校

中学 2 年生の息子と、小学 6 年生の娘。二人とも現在は学校を休んでいます。学校とは良好な関係を保っており、命の安全が第一。登校がストレスになるような状況は避けていると学校には伝えています。家では子供たちは動画やゲームをしながら過ごしていますが、最近は散歩を楽しんだり、学校のことを考えたりするようになってきました。娘が不登校を始めた当初、学校へ行かせることを選択したことを今はとても後悔していますが、オンラインや近隣の親の会での共感やアドバイスが私の心の支えとなっています。

兄弟姉妹がいるご家庭では、子どもたちが不登校になることに対するマイナスのイメージを持つかもしれませんが、早めにサインに気づけるので、子どものエネルギーが尽きる前に休養をとることができます。まずは子どもたちの心の健康を保つことが重要だと思います。不登校は子どもたちからの大切なメッセージ。その声に耳を傾け、共に成長していこうと思います。





親の会・家族の会

子どもが学校に行かない、行けない、ひきこもっているなどの悩みを共有したり、語り合ったり、情報交換ができる場です。家族や本人との接し方を親同士で語り合うことがメインですが、勉強会や専門家のアドバイスを受けられる親の会もあります。保護者や支援団体が主催し、月に一回程度開催されることが多いです。





13 明るい不登校



住所 | 草津市役所裏立体駐車場前ゆかい家、キラリエ草津、守山市駄菓子屋交流ひろば、音声オンラインで毎朝開催、LINEのべ千人以上参加

最寄り駅 | ゆかい家：草津駅徒歩15分、キラリエ草津：草津駅徒歩8分、駄菓子屋交流ひろば：守山市民病院徒歩15分

代表責任者 | 山本 リカ

E-mail | akaruifutoko.ch@gmail.com

URL | <https://akaruifutoko.hp.peraichi.com/> ★ <https://instagram.com/akaruifutoko>

活動日時 | 【オンライン】毎朝8時【草津市】ゆかい家にて毎月第2日曜日10時30～、キラリエ草津：不定期、【守山】駄菓子屋交流ひろば：第2,4木曜日14時～

参加費 | 無料（内容によっては参加費必要）

活動内容・施設や活動の雰囲気

当団体では、保護者同士が集まり、普段の生活では話せない悩みや感情を共有できる場を設けています。不登校の子を持つと、周りとのちょっとした違いや孤独感、誰かと分かち合いたい気持ちはありませんか？同じような経験をもつ人たちと、気軽に語り合える場所です。一人で悩みを抱え込むことなく気持ちを共有し、少しでも心の負担が軽くなればいいと思います。お気軽にお越しください！

スタッフ紹介

代表の山本りかです。子ども3人全員不登校です。悩み、苦しみ、地雷を踏みまくり、やらかしまくって今の私があります。子ども達とはとても関係がよく家族全員が明るく過ごしています。本当に長男が自殺しなくてよかったなと思います。それぐらいにこじれてやらかしました。そんな経験を伝える事で、苦しむ人が減ったらいいなと思って活動しています。

メッセージ

不登校の子を持つお母さんへ。孤立孤独を感じ、思った回答や情報がもらえなくて不安になってませんか？同じ立場の人と話す事で心が軽くなったり、不安でたまらない時は情報があるとホッとします。ドキドキしながら参加される方は最初は緊張して、心に重い荷物を背負っているように話し始め、涙を流しながら話し始めます。会話を重ねるうちに頭の中がスッキリするみたいです。一人で抱え込んでる人がこれ以上頑張りすぎないように過ごして欲しいなとも思います。

14 一般社団法人 蜜柑の木



住 所 | 野洲市 豆吉 (中主B&G・兵主神社近く)

最寄り駅 | 野洲駅 車で10分

代表責任者 | 永峰 美佳 (ながみね みか)

電話番号 | 090-2114-0910

F A X | 0748-33-4700

E - m a i l | mikannoki.oumihatiman@gmail.com

U R L | <https://www.mikannoki-oumihatiman.com/>

参加対象者 | 保護者 (当事者家族)

活動日時 | 第4水曜日 13:00～15:00

参加費 | 300円



活動内容・施設や活動の雰囲気

主に不登校等でお困りの親さんが胸の内をお話しして心が軽くなるお手伝いをしています。子どもさんも一緒にご参加頂けます。対象は小学生～18歳の子どもさんのおられるご家庭です。
※まずはお電話かメールにてお問い合わせください！

スタッフ紹介

近江八幡市で親の会や相談などを続けてきた担当 (永峰) と野洲市在住の子どもの未来アドバイザー (小澤) と、野洲市社会福祉協議会さんに協力を頂いて開催しています。

メッセージ

野洲市の古民家豆吉さんをお借りしてゆったりほっこりお話し会をしています。どうか一人で悩まないでくださいね。たくさんの不登校関連の情報も集まっていますので、お気軽にご参加下さい。

同時開催：心の居場所 toiro さん

守山市



15 cocomama (ココママ)



住 所 | コミュハウスほたる(守山市下之郷3-14-9)、
ぶらっと169ばんち(守山市浮気町169)など

最 寄 り 駅 | コミュハウスほたる:バス停下の郷東徒歩1分
ぶらっと169ばんち:JR守山駅徒歩8分、

代表責任者 | 大原 優子 (おおはら ゆうこ)

電 話 番 号 | メールもしくはSNSよりDMでご連絡ください。

E - m a i l | cocorono.mamani.2023@gmail.com

U R L | <https://instagram.com/cocomama.2023?igshid=MjEwN2lyYWYwYw==>

参加対象者 | 不登校・行き渋りがある子どもの保護者

活 動 日 時 | 月に2~3回、主に10時~14時

参 加 費 | 300円



@COCOMAMA.2023

活動内容・施設や活動の雰囲気

学校や園に行けない、行きにくい子を持つ保護者が集う場所です。

不登校に関する情報の交換や、悩みや不安を話したり、些細なことでも何でも、同じ立場の人と話すってとても大事なことです。

共感し合うことでほっとして、親が元気になればそれが子どもにも伝わり、家庭の中の雰囲気も明るくなりますね！

スタッフ紹介

私は不登校の子を持つ母です。自分自身の経験から不登校の家族への寄り添いや繋がり大切さを感じています。見守りスタッフもいますのでお子さんも一緒に参加していただいても大丈夫です。

メッセージ

cocomama(ここママ)という名前は、"心のままに"という意味で、大人も子どももありのままの自分でよくて、心のままに自然に過ごすことを大事にしたいという想いからつけました。cocomama 親の会では、気持ちを吐き出したり共感したりして、少しでも心が軽くなるというなと思っています。

心配ごとや不安や悩みはもちろん、そのほか気になってるちょっとしたこと-たとえば、給食費や学級費って払ってる？子ども会やPTAは入ってる？なども同じ立場だからこそ聞ける、話せることがあります。

お友達とお茶する感覚で気楽にのぞいてくださいね。

16 ひまわりんぐ～繭の会～



住 所 | 守山市・大津市・高島市で開催 お問い合わせください

最 寄 り 駅 | 守山市・大津市・高島市で開催 お問い合わせください

代表責任者 | 生杉 知恵(おいすぎ ちえ)

電 話 番 号 | 090-5050-4600

E - m a i l | himawaring362@gmail.com

U R L | ①Facebookひまわりんぐ <https://www.facebook.com/himawariring>
②ひまわりんぐinstagram https://instagram.com/himawaring_mayunokaiで検索

参加対象者 | ひまわりんぐは、どなたでも。
繭の会は青年期の保護者

活 動 日 時 | Instagram、Facebookなどでお知らせしています。詳細は気軽にお問い合わせください

参 加 費 | 300円

活動内容・施設や活動の雰囲気

守山市、高島市は居場所にじっこさんと同時開催、大津市は個人宅や施設などにて開催。

- ・登校しぶり/不登校保護者のお茶会(オンライン、オフライン)
- ・青年期ひきこもり保護者のお茶会『繭の会』
- ・HSCの親の会『ぞうさんのはな大津』

お茶会、講座なども開催しています。

保護者さんが一人で抱え込まずに、同じ立場、同じ思いでお話できたらいいなと活動しています。

スタッフ紹介

代表 生杉(おいすぎ) 不登校経験のあるひとりっ子の子供がいます。スタッフはいませんが、その時の参加者の保護者さんたちがお話をしてくださることでお手伝いしてくださっています。

メッセージ

100人いれば100通りの子育てがあるように、正解も不正解もないと思っています。

今のあなたでいいんだよとまるごと受け止めてもらえるといいなと思っています。

今できるスモールステップになるヒント探しをしに来ませんか？

あなたと同じ思いで寄り添い一緒にお話しできたらいいなと思っています。

どうぞ気軽にご参加ください。

わたしのおススメ本

～学校に行きづらい時に 読んでみて 助かった～

タネプロスタッフ
による

01

『10代から知っておきたいメンタルケア「しんどい時の自分の守り方」』

精神科医・医学博士 増田史 著 ナツメ社



滋賀医科大学の児童精神科の増田先生の著書です。

私はこの本を読んで、感動しました！

この本には、友人関係、親との関係、そして先生（学校）との関係などなど、自分がしんどくなる理由をしっかりと見つけ、その原因から心を解き放ち、自由になるコツ、心のケアの仕方が書かれています。

お家の方にももちろんおススメですが、こどもたちにぜひ読んでもらいたいです。

自分の心は自分で守っていいのです。むしろ、自分で守るべき。でも、自分では手に負えないくらい打ちひしがれてる時は、SOSを出してほしい。そんなメッセージが込められています。増田先生のあたたかてまっすぐな心がすうっと伝わる、そんな一冊です。

02

『不登校でも子は育つ ～母親たち10年の証明～』

親子支援ネットワーク♪あんだんて♪ 学びリンク



わが子が不登校になったとき、親はそれを認めたくない気持ちから混乱してしまうことが多いです。

こちらの本は、京都で長年活動されている不登校の親の会、♪あんだんて♪さんのお母さん方が書かれています。

教育や心理、医療などの「専門家」ではない、当事者のお母さんだからこその温かい視線と語り口は、今悩んでいる保護者さんの心に寄り添ってくれること間違いなしです。

また、本の中で紹介されている「不登校段階表」は、不登校の子どもと保護者さんの心理的な経過が段階的に図示されています。先の見通しが立つことが心の余裕に繋がるので、お勧めですよ。

03

『ようこそ こどものけんりのほん』

えがらしみちこ 絵・子どもの権利・きもちプロジェクト 作 白泉社



2023年4月に施行された「こども基本法」の考えのもとになったともいえる「子どもの権利」について描かれています。

本当にやさしくあたたかいイラストにほっこり。すべての大人と子どもが、もっともっと子どもの権利について知る必要があると思います。学校に行きづらい時、決して無理に学校に行かなくてもいいことも、「あなたのペースでおおきくなれる。」「やすむこともあなたのけんり」と絵本を通じて子どもたちに伝えることができます。子どもの権利のはじめの一步を、親子で学べる絵本です。カバー裏には子どもの権利条約ポスターが貼られています。幼児期、低学年から親子でこのような学びができたならもっとよかったなと、我が家の不登校経験を振り返ってもとても大切なことを伝えてくれる絵本だと思います。

市町公的機関 教育支援センター

学校に行きづらい、学校を長期で休んでいる。そんなお子さんや保護者のための公的な相談窓口や、子どもたちが学校以外の別の場所で勉強したり小集団で活動したりできる、市町の教育委員会が設置した公的な場所を紹介しています。

教育支援センターには、保護者や子どもたちの相談に応じる心理士さんや、学習のお手伝いをする支援員さんがおられます。直接相談することもできますし、学校を通じてつながることもできます。

不登校の子どもをサポートする教育支援センターとは？！

Q どこにあるの？

A 各市町の教育委員会が設置する公的な機関なので、各市町の中に1か所は設置されています。名称はさまざまなので、学校の先生や、各市町の学校教育課さんに問い合わせるとわかります。

Q だれでも利用できるの？

A 基本的に、市町にある小中学校に在籍していれば利用できます。利用には事前の面談や書類の提出が必要だったりするので、学校の先生や各市町の教育委員会学校教育課さんに（市町によって名称がちがう場合があります。）問い合わせてみてください。

Q どんなことが行われているの？

A 市町の支援センターごとの特色については、それぞれのページをご覧ください。学習支援や、小集団での活動がメインになる教室と、カウンセリング等の教育相談が主になります。カウンセリングでは、保護者、子ども一緒に来てもらって行う並行面接が行われることもあります。保護者さんだけの相談も可能です。

守山市

17 守山市教育研究所 「教育相談」「くすのき教室」

住 所 | 守山市勝部3丁目9-1

最寄り駅 | JR守山駅から徒歩約15分

連絡先 | (電話・FAX) 077-583-4237

参加対象者 | 守山市在住の小中学生およびその保護者

活動日時 | 教育相談は月曜日から金曜日 9:00~17:00
くすのき教室は月・水・木・金の9:30~15:00

活動内容

- ・教育相談では、不登校や、学校における集団活動や学業等に不安を抱えるお子さんや、子育て等に悩みのある保護者さんへ、相談活動を行っています。まずはお電話ください。
- ・くすのき教室では、不登校や、学校における集団活動や学業等に不安を抱えるお子さんの、学校生活への復帰や、社会的自立に向けた支援を行っています。通室生同士のふれあいやカウンセリング、体験的な活動、学習支援を通して、自己肯定感を高めたり、エネルギーを高めたりする支援を行っています。

スタッフ紹介

相談員3名、くすのき教室指導員1名

ここがステキ!!

- ・教育相談では、保護者さんとお子さんの様子についてお話ししながら、具体的な支援方法等について一緒に考え、お子さんとは、不安や悩みの解決策を一緒に考えたり、楽しい活動を一緒にしたりしながら、エネルギーを高める支援をされています。
- ・くすのき教室では、体験的な活動を大切にされています。外部講師の方との交流を年に数回行っておられます。(陶芸体験・音楽体験・自然体験など)

18 草津市教育研究所

(やまびこ教育相談) 電話相談・来室相談…平日9時～17時
(対象者) 子ども、保護者

(やまびこ教室) ●やまびこ青地教室
(住所) 〒525-0041 滋賀県草津市青地町1086番地
(TEL) 077-563-0334 (FAX) 077-563-0117
●やまびこ上笠教室
(住所) 〒525-0028 滋賀県草津市上笠4丁目3番17号
(JAレーク滋賀笠縫支店店舗2階)

活動内容

・子ども・保護者、学校から相談を受けるやまびこ教育相談、基本的にいつ来ていつ帰っても良く、服装も自由なやまびこ教室、また、不登校の子どもの保護者の会を開催しています。

スタッフ紹介

スクールソーシャルワーカー 1名
指導員 青地教室4名 上笠教室2名

ここがステキ!!

・保護者会は新たな取り組みで、今後も継続して開催される予定です。年に3回程度、保護者同士で疑問や不安を語り合い、交流する「保護者の集い」を開催されています。
・令和5年5月より、やまびこ教室では青地教室の他、新たに上笠教室も開室され、より利用しやすくなりました。
・教室に来る子ども達が各自で自分のペースで学習に取り組めるよう、学習ソフトも利用されています。

19 草津市子ども・若者総合相談窓口

住 所 | 草津市役所さわやか保健センター2階 子ども家庭・若者課内
(草津市草津三丁目13番30号)

最寄り駅 | JR草津駅から徒歩約15分

連絡先 | (電話など) 077-561-0188

M A I L | kodomo@city.kusatsu.lg.jp

対 象 者 | 草津市内にお住まいの子ども・若者(おおむね39歳まで)とその家族

活動日時 | 月曜日から金曜日 8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)

活動内容

さまざまな悩みを抱える子どもや若者、その家族をサポートするための窓口です。「学校や社会になじめない」「将来に不安を感じている」など、どこに相談したらいいのか分からない悩みについて、相談員と一緒に考えます。

電話やメール、来所などで相談員に悩みを聞かせてください。必要に応じて、カウンセリングや訪問、同行もできます。

スタッフ紹介

相談員3名(社会福祉士、保健師) 臨床心理士1名 ※週1回
話しやすい雰囲気づくりを心掛けています。

ここがステキ!!

・市役所保健センターの中にあり、対象の方であれば相談にのってもらえ、必要に応じて、臨床心理士のカウンセリングを受けることもできます。
・保護者や家族の相談にものってくれます。子ども(若者)の希望や状態にもよりますが、家から出ることが難しい場合、家庭訪問をしてもらうこともできます。
・相談が無料ということ、困りごとに応じて様々なサポートを行う関係機関につないでいただけることが心強いですね!

栗東市

野洲市

20 栗東市児童生徒支援室 教育相談「だんだん」、「あいあい教室」

住 所 | 栗東市安養寺3-1-1
 最寄り駅 | JR手原駅から徒歩約15分
 連絡先 | (電話) 077-554-6104
 参加対象者 | 栗東市内の小中学校に通う子ども
 活動日時 | 月曜日から金曜日 9:00～17:00
 水曜日のみ午前中

活動内容

- ・「だんだん」では、不登校、学校不適應の子どもさんや保護者さんの相談に応じています。相談は、学校を通してでも、室に直接電話をしていただいても対応可能です。親子の並行面談を行っています。
- ・あいあい教室では、来室した子どもの学習支援やコミュニケーションを中心にした社会活動の支援を行っています。

スタッフ紹介

相談員は臨床心理士3名、あいあい教室の指導員は、元教員2名で対応しています。

ここがステキ!!

- ・あいあい教室を利用する中学3年生はほぼ全員が、それぞれ自身で選んだ高校に進学しています。
- ・学習支援センターの中には冷暖房完備の小運動室（ミニ体育館）があって、卓球やバドミントンなど体を動かす活動も可能です。

野洲市

21 野洲市ふれあい教育相談センター

住 所 | 〒520-2331 野洲市小篠原1973番地1
 最寄り駅 | JR野洲駅 徒歩約10分
 連絡先 | (電話) 077-587-6925 (FAX) 077-587-2004
 参加対象者 | 野洲市内在住の小中学校に通う子どもとその保護者
 開所日時 | 月～金曜日 8時30分～17時15分

活動内容

- ・こころの教育相談
2名の心理士が在籍し、週5日（月～金曜日 10時～17時）子どもやその保護者の相談にのっています。
- ・適応指導教室ドリーム
小学校、中学校に行けない、行きにくい子どもを対象に週5日開所しています。（月～木曜日 9時30分～14時、金曜日9時30分～12時）
午前中は、学習と小集団活動を。午後は近隣施設での運動や野菜の栽培活動、陶芸等の体験活動を主にしています。
- ・家庭訪問型学習支援
適応指導教室などに来にくい子どもを対象に、指導員2名や心理士が1週間に1度（火、木曜日の9時～16時30分）、自宅や自宅近くの施設を訪問して学習支援やカウンセリングをしています。

スタッフ紹介

所長、副所長、主幹、指導員、公認心理師、臨床心理士、メンタルフレンド

ここがステキ!!

野洲市ふれあい教育相談センターでは、訪問型の学習支援も行っています。自宅や自宅近くの施設に職員が赴き、適応指導教室に来にくい子どもを対象に学習支援やカウンセリングなど行っています。
R5.8.1に新センターがオープンし、広くなった場所で活動を始めています。

大人になったら相談できる場所

守山市

22 ほたるの広場、ほたるサポート事業 (守山市社会福祉協議会)

住 所 | 守山市下之郷3-2-5 (すこやかセンター内)

連絡先 | (電話) 077-583-2923

参加対象者 | 守山市内にお住まいのひきこもりの当事者さん、その家族さん

活動日時 | 「居場所」ほたるの広場は、毎週火曜日 13:30 ~ 16:00

ほたるサポート事業は、毎月3回 (主に火曜日 11:00 ~)

※ほたるの広場の場所、ほたるサポート事業の活動日時は、守山市社会福祉協議会さんまでお問い合わせください。

活動内容

・ほたるサポート事業は、ひきこもりとされる方が、社会との接点を持つきっかけとなるよう、活動日を設定して、すこやかセンター等で1回当たり30分程度の軽作業やボランティア活動に取り組むことができる場です。

・ほたるの広場は、守山市社会福祉協議会さんが借り上げた一軒家で、当事者や家族の方々が自由に過ごすことができる「居場所」です。知恵の輪やテーブルゲームなども用意されていて、みんなで楽しく遊ぶもよし、ちょっと個別に相談することも可能です。

スタッフ紹介

守山市社会福祉協議会の職員さんのほか、養成講座を受講したサポーターさん、市発達支援課の職員さんもおられます。

ここがステキ!!

ほたるサポート事業では、ちょっとしたボランティア活動に取り組むことができ、交通費として500円が支給されます。また、歩いて数分の場所に、自分のペースで緩やかに他者とつながることのできる場「ほたるの広場」があって、ボランティア活動のあとに気軽に立ち寄ることができるのも素敵ですね。

守山市

23 若者自立支援ボランティアGroup 居場所の会「レリーフ」



住 所 | 滋賀県守山市下之郷3-2-5 すこやかセンター2F (守山社協内)

最寄り駅 | JR守山駅「徒歩20分」

連絡先 | 090-6064-1961 (担当 大道) relief_1101@yahoo.co.jp

ホームページ | <https://relief-moriyama.jimdofree.com>

開催日時 | 毎週 (月、水) 10:00 ~ 15:30 (金) 10:00 ~ 11:30

会 費 | 年間2000円 (保険代含む)

活動内容

・室内作業・書道・農作業・コミュハウスでの活動 (内職、調理実習、フリータイムなど)・親の会・カウンセリング相談・所外活動 (スポーツ、文化施設見学など) 等を行っています。

・ひきこもりの方の家族には安心に繋がる取組みを重視し、学習会や他の居場所見学なども行っています。

ここがステキ!!

・働いて収入を得たいと思っている利用者の方が多く、安心して働ける個人にあった職場探しを、守山市社協さんと協力して行っておられます。スタッフの方の丁寧で温かいサポートが感じられ、ここに来たら安心でき、元気が出ます。カウンセラー、元教員、電機メーカーや商社元社員、元税務所職員など様々な職種のスタッフが集まっていて、持ち味を生かしサポートしてくれますよ。

相談窓口

居場所

フリースクール・オルタナティブスクール

親の会・家族の会

大人になったら相談できる場所

守山市

24 ひきこもり居酒屋（一般社団法人node）

住所 | 草津市草津1丁目13-12（草津駅から徒歩12分程度）

連絡先 | 090-3616-6864（担当）歌藤（かとう）
tfzmy@gmail.com 公式 LINE ID：@kro7522y

参加対象者 | どなたでも

活動日時 | 2ヶ月に1回程度 週末の夜19時頃～22時頃

活動内容

カウンターと座敷のある居酒屋です。投げ銭制でやっております。だらだら酒を飲む空間です。ソフトドリンクもあります。食べ物も適当にお出ししています。

ここがステキ!!

雰囲気のある元料亭の建物内で開催されています。お酒好きなご店主の歌藤さんのおおらかで優しい雰囲気とおいしいお酒に、日頃の疲れも癒されそうです。「だらだらやっています。気が向いたらお越しください。」というご店主からのメッセージ。個性がにじみ出ていてクスッとしますね。

草津市

25 フリータイム



住所 | 草津市大路2丁目3-11 辻第二ビル（草津駅徒歩7分）

連絡先 | （電話）077-598-6950 （FAX）077-598-6951
（Email）freetime@beach.ocn.co.jp

ホームページ | <http://shinshinren.or.jp/freetime/>

参加対象者 | 18歳以上の方

活動日時 | 月曜日～金曜日 10時～16時

会費 | 年間2000円（保険代含む）

活動内容

フリータイムの建物はとてもレトロな建物です。1か月の予定は決まっていますが、基本みなさん好きなことをして過ごしていらっしゃいます。仕事をした方は内職やポストिंगなどをしてもらっています。仕事以外ではボードゲーム、調理活動、手芸、工作、外出などに参加する方もいます。1人で過ごしたい方はスマホゲームや持参できるゲーム機でゲームをしたり読書をする方もいます。利用者さんの「居場所」になるように心掛けているため自由な雰囲気です。

ここがステキ!!

- ・いろいろなバックグラウンドがあり、おおらかで優しいスタッフさんがいらっしゃるそうです。担当の公文さんは、「皆さん違い、人それぞれの価値観や目標を持たれています。最初は目標なんてないとおっしゃる方が多いのですが、まずは目標探しを一緒にして、その後目標達成を伴走できたらと思います。時には目標を変更せざるを得ない場合は一緒に落ち込み、次の目標を見つけるなど一緒に悩んだり喜んだりして、結果皆さん自分の目標を達成していらっしゃいます。」と、メッセージ。参加する方と一緒に考えてよとする温かい人柄がステキです。
- ・参加費が無料、どの市町からでも参加できるのが魅力ですね。

栗東市

26

まろんdeさろん ～あさこのへや～ (栗東市社会福祉協議会)

住所 | 栗東市なごやかセンター和室 (栗東市安養寺190番)

連絡先 | 077-554-6105 (栗東市社会福祉協議会)

参加対象者 | 栗東市内にお住まいの女性

活動日時 | 毎月第3火曜日 10:00～13:00

活動内容

- ・栗東市の女性の方のための居場所です。過ごし方は自由です。
- ・日によって、季節のかざりや製作などを行うこともあります。

ここがステキ!!

- ・栗東市の女性対象の事業なので、学校に行きづらい女の子やお母さん、親子で来ても大丈夫! 学校に行きづらい、不登校の子を育てるお母さんも、ぜひ一度相談してみてください。
- ・女性なら年齢に関係なく参加できます。女性の看護師、社協の女性職員さんなどあたたかいスタッフさんが迎えてくださいますよ。安心して参加してくださいね。

野洲市

27

まだ名前のない居場所 (社会福祉法人野洲市社会福祉協議会)



住所 | 野洲市中北97 (中北の家)

最寄り駅 | 野洲市コミュニティバス 野洲北中学校前徒歩5分

連絡先 | 電話 077-589-5783 FAX 077-589-4683
メールアドレス fukushi@yasu-syakyo.or.jp

ホームページ | <http://www.yasu-syakyo.or.jp/>

参加対象 | おおむね20歳以上の方

開催日時 | 毎月第1火曜日 12:30～15:00

参加費 | 無料

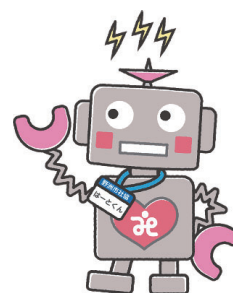


活動内容

今は家にいるけど、まずは一歩外に出てみたい人やお家以外に過ごす場所がほしい人、ちょっとほっこりしたい人のための自由に過ごしてもらえる居場所です。ご希望の方は、お仕事体験もOK。働く体験に参加された方には交通費として500円をお渡ししています。

ここがステキ!!

いつ来てもいつ帰っても大丈夫で、たたみの部屋でゆっくりと過ごすことができます。希望があればお仕事体験をすることもでき、生活のことも含めて、安心して相談できますよ。また、ひきこもりの方の保護者や家族の会「ほっとTime」も開催しておられます。詳しくはお問い合わせください。



滋賀県内で公的相談機関をお探しの方へ

滋賀県心の教育相談センター

こちらは、不登校に関する専門の相談機関です。電話相談や来所相談により、不安や悩みの軽減を図りながら、学校復帰や将来の自立をめざして、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）による相談を行っています。原則として幼児および市町立小中学校の児童生徒の相談については、電話による相談のみです。



住 所：〒520-2321 滋賀県野洲市北桜（滋賀県総合教育センター内）
電話番号：077-586-8125 受付時間：月～金曜日 10:30～12:30 13:30～16:30

滋賀県子ども・若者総合相談窓口

様々な悩みをおもちの子ども・若者（小学生～39歳）や保護者・関係者からの相談窓口です。精神保健の専門性を活かし、ご本人の悩み事の解決に最も適した関係機関と連携しながら問題の解決をサポートします。当事者の方へのグループ活動やご家族向けの学習会も開催しています。

住 所：〒525-0072 滋賀県草津市笠山8丁目4-25 滋賀県立精神保健福祉センター
電話番号：077-567-5058 受付時間：平日 9:00～16:00

困ったときは ここにかけてね！ こころんだいやる

なやみ言おう
📞 0120-0-78310 (24時間子供SOSダイヤル)

子どもがかけられる
電話はここ！

不登校やいじめ、お家のことなど、子ども自身が相談してOK！ 費用はかかりません。
安心して相談してくださいね。
午前9時～午後9時（土・日・祝日を含む毎日 年末年始は休み）

医療機関をお探しの方へ

びわころネット

びわころネットは、子どもの心の健康を支える「支援ネットワーク」構築の場となることを目的に、滋賀県と滋賀医科大学精神医学講座・小児科学講座の協力のもと立ち上げられました。様々な心の問題に悩む方々を支援するために、主に支援者に向けて大きく3つの取り組みを行っています。

- 1) 専門家の育成
- 2) 医療機関・教育・保健・福祉の各分野の連携促進
- 3) 心の問題の理解促進



びわころネット

🔍 びわころネット 検索



心身に症状が出ている場合、お子様の症状に合わせて滋賀県内の医療機関や支援機関を検索することができますよ。受診するか判断に悩む場合は、まずはかかりつけ小児科医や相談機関に相談されるのをおすすめします。

地域の子ども食堂をのぞいてみよう♪

子どもの笑顔 はぐくみプロジェクト

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」とは？

滋賀県内にひろがる「遊べる・学べる 淡海子ども食堂」の継続的な運営のバックアップなど、子どもを真ん中においた地域づくりをさらにすすめるための応援団をつくるプロジェクトで、滋賀県社会福祉協議会が事務局を担っています。

さまざまな背景を抱えた子どもたちが、ほんとうにうれしい気持ちになれるよう、多様な居場所をひろげ、子どもたちの笑顔をはぐくむコミュニティをつくるため、様々な取り組みをされています。

子ども食堂とは？

“ごはん”を通じて地域ぐるみで子どもを見守り育てていく、垣根のない居場所です。食堂をきっかけにさまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかない、あたたかいまなごしの地域づくりをめざしています。

子どもたちが安心できる人達と出会い、みんなで囲むあたたかいごはんや勉強・遊びを通して、地域のなかで大事にされて「ほっ」と安心できる食堂を、皆さんの思いと工夫でつくっています。(子どもの笑顔はぐくみプロジェクトホームページより引用)



滋賀県内の地域の子ども食堂をお探しの方はこちらから

<https://shiga-hug.jp/kodomo-shokudo/>



滋賀 子ども食堂

検索

2023年8月末現在、県内には187か所の子ども食堂が誕生しています。

もしも学校に行きづらさがあっても、地域とのつながりをもち続けることはとても大切です。安心して子どもたちが育っていけるよう、地域のサポーターに出会ってみてくださいね。

あたたかくておいしいごはん笑顔も生まれますよ。

全国規模の民間団体

(親の会・相談窓口・居場所等オンライン参加可)

イクミナル

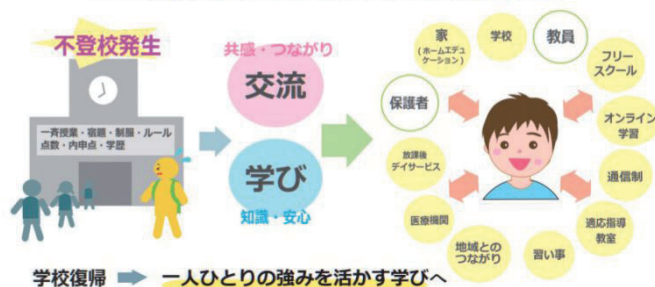
イクミナルは、学校生活での環境調整が必要な家庭が、孤立せずにつながりあえるようにとおしゃべり会や相談会をおこなっています。

困っている保護者や子どもの心境に寄り添い、必要な方には、学び環境のコーディネートをお手伝いすることもできます。蓄積されて来た情報を、心理・発達・ソーシャルワークの専門家とともに吟味しているので安心です。

イクミナル

ikuminal

イクミナルの考える、学びのコーディネート



リンク <http://ikuminal.com/wptop/>

Email ikuminal.info@gmail.com



多様な学びプロジェクト

NPO 法人 多様な学びプロジェクトは、誰ひとり取り残されない社会を目指して、全ての学校以外で育つ子が安心して豊かに育つことが出来る環境を整えるための活動をしています。多彩なゲストを迎えての保護者向けオンライン講座、子どもたちの繋がりや学びをサポートする子ども向けオンラインサロン・オンライン講座、保護者同士や保護者と支援者を繋ぐ大人向けオンラインサロンなどを開催。親も子も安心して、ご自宅から学びと交流に参加できます。また、ホームページ上では安心して繋がれる全国500か所以上の地域の居場所(とまり木)を無料で検索できます。



リンク <https://www.tayoumanabi.com/>

Email contact@tayoumanabi.com

街のとまり木サイト (居場所検索サイト) <https://tomarigi.online/>



ホームエデュケーションとは？

お子さん自身がフリースクール等の活用を求めないときは、在宅で学び育つことを肯定的にサポートする「ホームエデュケーション」という方法もありますよ。お子さんの「今」を肯定してサポートしていくことは、自尊感情を育む上でもとても重要です。まずは、お子さんが今、何を必要としているのかを聞いてみてくださいね。親子や兄弟姉妹との関係性・地域の人や社会資源とのつながりを活用することで、社会性も育っていきますよ。

まなびバ！シリウス

群馬県館林市にある築100年の蔵を活用し、学校があわな
い子どもたちに居場所や学び場を提供しています。2020
年10月から、オンラインフリースクール事業（風のがっ
こう）を開始。全国どこからでも参加できます（シリウスパ
ークのみ1,000円・週1コース1,500円・週2コース2,000
円）。一緒にお勉強したり、絵を描いたり、時にはクッキン
グも！代表の安楽岡さんは以前小学校の教員をされていて、
とっても優しい笑顔で、明るくて話しやすいですよ



リンク <https://www.manavivasirius.com/onlinesirius>

Email manavivasirius@gmail.com



明るい不登校

明るい不登校さんは、音声 SNS クラブハウスにて毎朝 8
時から不登校に関する情報発信を行っています。全国から
約 900 人が参加の LINE グループがあり、滋賀県草津市ほ
か全国で不登校の会を開催しています。また、滋賀県守山
市では、駄菓子屋兼子どもの居場所を開催しています。代
表の山本さんはとても明るく、保護者のみなさんの悩みを
親身に聞いてくれますよ。



リンク <https://akaruifutoko.hp.peraichi.com/>



先輩ママたちが運営する不登校の道案内サイト 未来地図



『未来地図』には、不登校の初期対応方法や経験談、全国のフリースクールや通信制高校、親の会
の紹介ページがありとても参考になります。オンライン親の会や利用者同士がコメントし合えるト
ピックもあり、保護者のコミュニティの場に活用されています。人と話すことが苦手、今は誰かと
話すことがつらい方は、まずこのホームページを
「読んで」情報を得るのもおすすめです。

リンク <https://miraitizu.com/>

Email info@miraitizu.com



感染症等の影響で外出することが難しかったり、まずは自宅を拠点に相談先を探したりし
たい場合は、オンラインで参加できるこのような場は助かりますね。

ここに掲載されている団体さんの開催する活動は、どれも実際に当プロジェクトの
スタッフが参加したことがあったり、お話をしたりしたことがある方が運営されて
います。安心して、まずはホームページなどをじっくりのぞいてみてください。





おわりに

私たちが「学校に行きづらい子どもたちのための育ちと学びのサポートブック」を発行してから、本冊子で3冊目となりました。これまで発行された他団体の他のエリアも含めると、概ね滋賀県内の学校に行きづらい子どもたちやその保護者がサポートを受けられる民間団体の情報は網羅されたように思います。（高島市につきましては、当プロジェクトスタッフにて情報の整理は進めております。）改めて、ここまで一緒に活動を共にしてくれた仲間には、大変感謝しています。

さて2023年4月、ついに「こども基本法」が施行されました。この法律は、すべての子どもや若者が、将来にわたって幸せな生活ができる社会を実現するためにつくられました。くしくも、私たちがこのサポートブックづくりを始めたもとの動機は、「子どもの権利」に基づいたものでしたので、こうして日本の子ども施策の大元となる法律ができ、大変心強く思います。

一方で、「こども基本法」はもとより、これまでに不登校に関する法律や通知などが存在しているものの、まだまだ学校に毎日行くことが「当たり前」の日本では、不登校状態になると子どもも保護者も自分を責め、互いを責め、さらに周りからも現状をなんとか打開しようと、余計なプレッシャーが与えられることが多いでしょう。そんな情景を思い浮かべると、胸が締め付けられます。「子ども基本法」第3条に掲げられている子ども施策の基本理念には、以下の条文があります。

全てのこどもについて、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法（平成十八年法律第百二十号）の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。 *条文を一部抜粋しています。

私たちは、子どもが幸せであることに細心の注意をはらうべきです。笑顔があること、心が健やかであることがもっとも大切なのです。学校に行きづらいことで、子どもたちの心や未来が暗くなることはおかしい。子どもは、どんな状況でも愛され、社会で大切に育まれるべき存在なのです。「子どもの権利」の考えは、こうしたそもそもの大切な気づきを我々大人に与えてくれ、子どもたちへのまなざしを見つめ直すきっかけになってくれます。

本サポートブックには、民間の団体さんも公的な機関もできるだけたくさんの情報を載せています。もしも、今学校に行くことがつらい場合は、まずは保護者の方だけでもかまいません。地域のだれかに繋がってもらえたらと思います。また学校の先生方にも、地域にはいろいろな子どものサポーターがいるということを知ってほしいです。先にも述べましたが、子どもはどの子どもも大切な存在として、地域全体で、社会全体で育まれる必要があります。学校に行きづらい子が、地域の中でいろいろな人の温かいまなざしに支えられながら、自立に向けて健やかに学び育っていきける環境作りに役立つことを願って、私たちはこのサポートブックを作成しています。

作成にあたって、社会福祉法人ひかり会守山学園地域連携室をはじめ、たくさんの方にご協力いただきました。深く感謝申し上げます。

このタネがしっかりと根を張って、全ての子どもたちの希望となりますように。

おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト スタッフ一同

